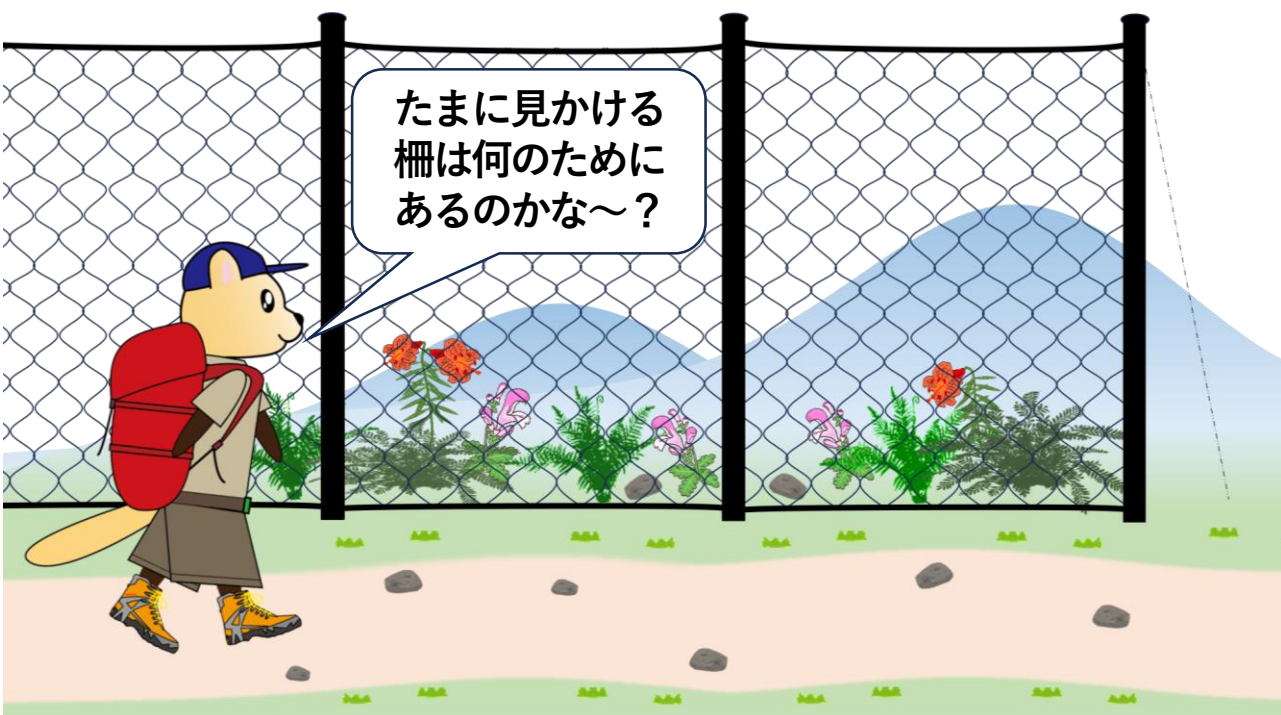


突然ですが問題！登山中に見かける柵は何のために設置されているのでしょうか？



選択肢は3つ

- ① 縄張り表示！
- ② 植物を守るため
- ③ 登山者への意地悪

答えは②の植物を守るため。設置された柵は通称「シカ柵」と呼ばれニホンジカなどの動物から植物を保護するために設置されたものです。近年ニホンジカの増加に伴い、林業被害、土壌の流出や植生の衰退など生態系の問題が発生しています。そのためシカ柵の設置面積は年々増えています。 ※場所により鉱山や私有地など立入を防ぐための柵もあります。

え！？食害で風景が変わっている！？

右の写真は動物の食害により柵の中と外で違いがはっきりと…。下の写真は御岳山内にあるロックガーデンの昔と今を比べてみました。昔に比べ斜面の緑が減っているのが分かるかと思います。都内の絶滅危惧種を紹介している『東京都レッドデータブック2023』ではニホンジカによる食害によって林床の植物や草原の植物が減っていることが記述され、希少な植物の減少要因にもなっています。



約12年後

